

度会橋（三重県）



擬宝珠つき（ダークブラウン色 KSB）

粟ヶ池大橋（大阪府）



デザイン（標準色：シルバー色）



JQA3000
ISO 9001
アルミ防護柵の設計・開発、
製造及び据付け

表紙▶
仁保橋 広島県

改修向けアルミ合金製 車両用防護柵 (歩行者自転車用柵兼用) 橋梁長寿命化対策製品

神奈川県某跨線橋



落下物防止柵一体型 高欄兼用車両防護柵（標準色：シルバー色）

要津橋（東京都）



LED 照明内蔵（標準色：シルバー色）

新道橋（東京都）



LED 照明内蔵 + デザインパネル + 木目調塗装仕上げ

福島橋（東京都）



デザインバラスト（標準色：シルバー色 + 指定色塗装仕上げ）

* 注意事項

- 本パンフレットに掲載の製品はセミオーダー対応となりますので、製品費については物件ごとにお見積させていただきます。
詳しくは、お近くの支店・営業所までお気軽にお問い合わせください。
- 本防護柵タイプはB種及びC種のみのお取り扱いとなります。
- 標準色（シルバー）以外の陽極酸化塗装複合被膜色や塗装仕様については、割増価格となりますので予めご了承ください。
- 色調については色見本での確認をお願い致します。塗装仕様の場合は日本塗料工業会標準色よりご指定ください。



□ 本 社 〒105-8681 東京都港区新橋1-1-13 アーバンネット内幸町ビル TEL. 03-6810-7473

□ 東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル TEL. 022-292-7011
□ 新潟支店 〒950-0965 新潟市中央区新光町17 日軽ビル TEL. 025-283-6695
□ 静岡支店 〒420-0851 静岡市葵区黒金町59-7 ニッセイ静岡駅前ビル TEL. 054-273-8851
□ 名古屋支店 〒460-0008 名古屋市中区栄2-9-26 ポーラビル TEL. 052-209-6901
□ 北陸支店 〒920-0022 金沢市北安江1-3-24 金沢フロントビル TEL. 076-222-3299

□ 大阪支店 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-5-18 朝日生命道修町ビル TEL. 06-6223-3561
□ 九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-8-10 九勸末広通りビル TEL. 092-436-6910
□ 広島営業所 〒730-0051 広島市中区大手町3-1-9 広島鯉城通りビル TEL. 082-545-1322
□ 沖縄営業所 〒900-0015 那覇市久茂地3-1-1 日本生命那覇ビル TEL. 098-860-7231

- このパンフレットの記載内容は2024年6月現在のものです。
- 仕様は商品改良のため予告なく変更することがあります。また、色彩は印刷の特性上、実際の商品とは多少異なる場合がありますのでご了承ください。
- 商品の保証期間は、引渡し後2年間とします。
- 設計条件以上の荷重等に起因して、製品の損傷や必要な性能を満足できなくなった場合は、保証対象外とします。

K1.S1.2406.10.RS



日軽エンジニアリング株式会社

様々な改修条件に対応できる日軽エンジニアリングの 改修向けアルミ合金製車両用防護柵（歩行者自転車用柵兼用）

●既設地覆を再利用

後施工アンカー（樹脂カプセルアンカー）を使用することにより、既設地覆の改修なしで防護柵を取り換えることが可能です。

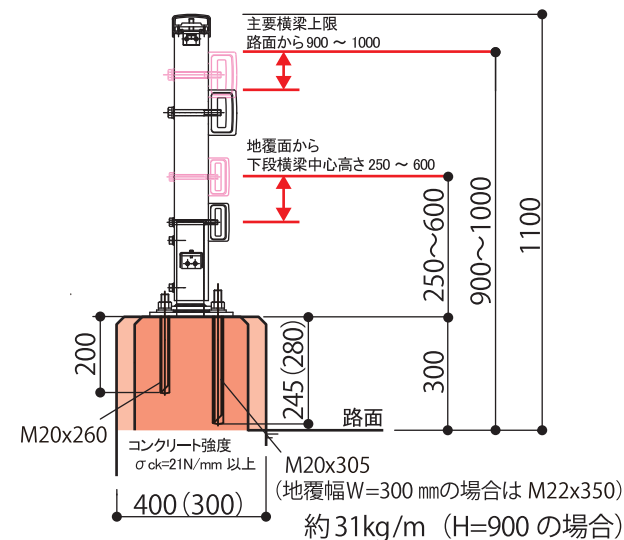
●狭小地覆への設置が可能

既設コンクリート地覆幅がW=300mmと狭小な場合においても設置可能です。

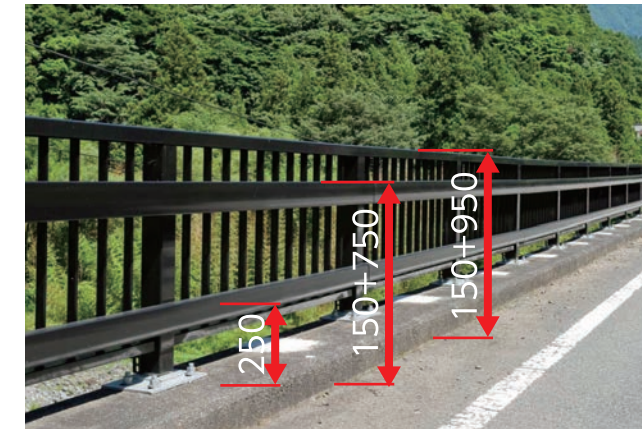
●防護柵の設置基準を遵守

横梁高さを調整することで、既設地覆の高さに関わらず、防護柵の設置基準に則した改修が可能です。

* 上記条件以外での設置事例もございますので営業担当までご相談ください。

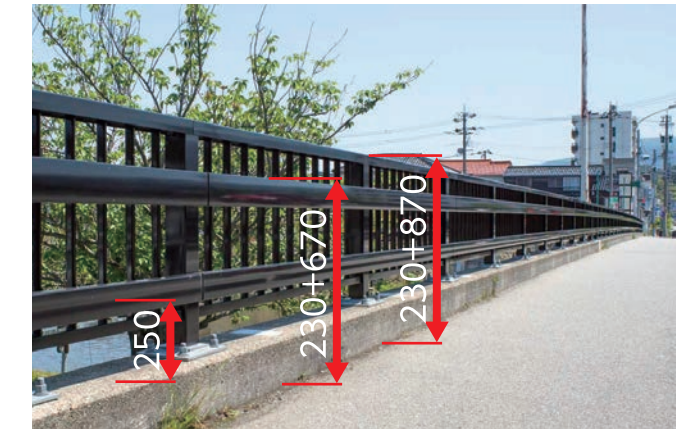


地覆高 150mm・地覆幅 500mm の場合



製品高：950mm
主要横梁上端高さ：路面より 900mm
下段横梁中央高さ：地覆上端より 250mm
表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 ダークブラウン色 (KSB)

地覆高 230mm・地覆幅 300mm の場合



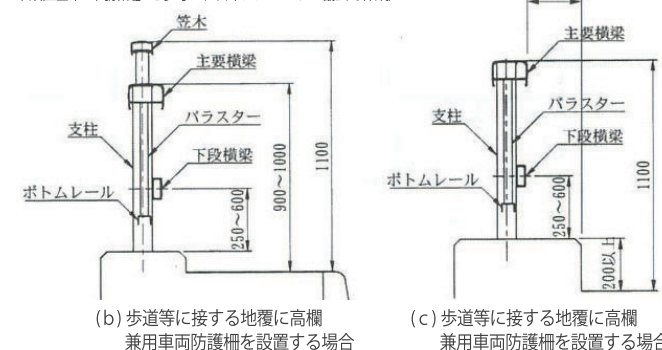
製品高：870mm
主要横梁上端高さ：路面より 900mm
下段横梁中央高さ：地覆上端より 250mm
表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 ダークブラウン色 (KSB)

昭和 55 年に設置基準が大きく改正されています。

昭和 55 年 9 月以前に設置された防護柵は補修・改修が必要になる可能性があります。
防護柵の設計条件（基準）については以下をご参照ください。

- ・防護柵の設置基準・同解説／ボラードの設置便覧 (公社) 日本道路協会 令和 3 年 3 月
- ・道路橋示方書・同解説 (公社) 日本道路協会 平成 29 年 11 月
- ・立体横断施設技術指針・同解説 (公社) 日本道路協会 昭和 54 年 1 月
- ・アルミ合金製橋梁用防護柵設計要領 (一社) 日本アルミニウム協会 平成 30 年 6 月

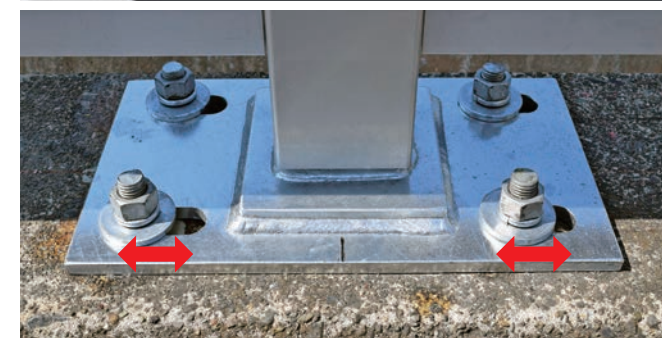
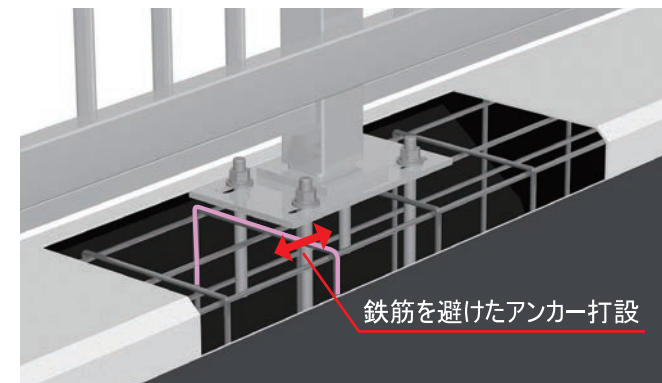
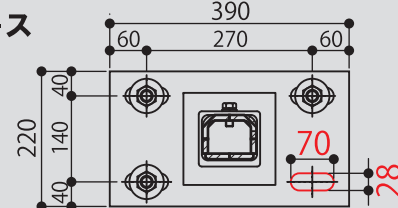
ビームの配置高さの考え方（単位mm）抜粋（「設置基準・同解説」を参考に、日本アルミニウム協会で作成）



●既設地覆内の鉄筋を回避

アンカーボルト用孔を橋軸方向に広げているため、地覆内の鉄筋を避けてアンカーボルトを設置することが可能です。

改修用長孔ベース



●付加機能の充実

落下物防止柵、目隠し板、裾隠し板、LED照明などを追加することが可能です。

●周辺環境に合わせた意匠の検討が可能

様々な形状のアルミ部材を組み合わせることや、カラーアルマイト処理、塗装仕上げ、LED照明の内蔵など、追加オプションで防護柵をデザインすることも可能です。

改修例：こむぎょう橋 神奈川県

鋼製高欄からアルミ合金製高欄兼用車両防護柵へ



改修前



改修後

表面処理：陽極酸化塗装複合被膜
ブラウン色 (KOB)

改修例：御殿橋 神奈川県

ガードレールからアルミ合金製高欄兼用車両防護柵へ



改修前



改修後

表面処理：陽極酸化塗装複合被膜
支柱・バラスト：ダークブラウン色 (KSB)・横梁：ステンカラー色